

問1	ヒトが呼吸をするときに、まわりから体の中に吸い込む空気のことを何といいますか。			
	1. 二酸化炭素	2. はく息	3. 吸う息	4. 窒素
問2	胸の左右にあり、吸った空気から酸素を血液中にとり入れ、二酸化炭素や水（水蒸気）を外へはき出すはたらきをしている呼吸のための器官はどれですか。			
	1. 胃	2. 肝臓	3. 心臓	4. 肺
問3	肺に送られた血液が、二酸化炭素を出して酸素をとり入れたあと、この血液はどこへ向かいますか。			
	1. 小腸	2. 心臓	3. じん臓	4. 胃
問4	ヒトの体の中で、消化された養分がおもに吸収される器官はどこですか。			
	1. 小腸	2. 大腸	3. 食道	4. 胃
問5	肺にはたくさんの血管が通っていますが、肺が血液中から受け取って、体の外へはき出す物質はどれですか。			
	1. 酸素と二酸化炭素	2. 酸素と水（水蒸気）	3. 二酸化炭素と水（水蒸気）	4. 栄養分と酸素
問6	吸う息にふくまれる酸素と二酸化炭素の割合について、正しいものはどれですか。			
	1. 酸素が約21%で、二酸化炭素が約0.04%ふくまれている。	2. 酸素はまったくふくまれておらず、二酸化炭素だけがふくまれている。	3. 酸素も二酸化炭素も、どちらも約50%ずつふくまれている。	4. 酸素が約0.04%で、二酸化炭素が約21%ふくまれている。
問7	じん臓の調節機能では、血液から不要物をこしとった後に、体の中の状態を保つためにどのようなことを行っていますか。			
	1. 血液の中に酸素を取り込んで、二酸化炭素を体の外に出す。	2. 食べ物を細かく消化して、栄養分を体の中に吸収する。	3. 必要な物質をすべて尿として体の外に排出し、水分をなくす。	4. 必要な物質を血液中にもどし、塩分や水分の量を一定に保つ。
問8	じん臓の場所や大きさについて正しく説明しているものはどれですか。			
	1. 背中側の腰のあたりに左右に1つずつあり、にぎりこぶしより少し大きい。	2. お腹側の胸のあたりに1つだけあり、にぎりこぶしより少し大きい。	3. 背中側の腰のあたりに左右に1つずつあり、親指の先ほどの大きさである。	4. お腹側の腰のあたりに1つだけあり、頭と同じくらい大きさである。
問9	タンパク質が体の中で使われるときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒な物質につくり変えたものを何といいますか。			
	1. 二酸化炭素	2. 尿素	3. アンモニア	4. でんぷん
問10	食べ物がだ液などによって消化されると、どのようなものに変えられますか。			
	1. 骨や筋肉を動かすための空気	2. からだの外に追い出しやすいゴミ	3. 血液をからだ全体に送るための水分	4. からだに吸収されやすい養分
問11	心臓がたえず動き続けることによって、全身に送られているものはどれですか。			
	1. 胃液	2. だ液	3. 空気	4. 血液
問12	魚が呼吸をするために使っている、水の中から酸素をとり入れるための器官は何ですか。			
	1. 心臓	2. 胃	3. えら	4. 肺
問13	ぼうこうは、じん臓でつくられたようをどのようにする場所ですか。			
	1. ようをからだの全体に送る	2. からだの外に出す前に一時的にためておく	3. ようを栄養分に変える	4. ようを新しくつくり出す
問14	運動をしたときに、心臓が速く動くことによって、ふだんよりも数が増えるものはどれですか。			
	1. 運動時の消化液の量	2. 運動時の血液の量	3. 運動時の脈はく数	4. 運動時の肺の大きさ
問15	かん臓が、体の中でできたアンモニアを尿素につくり変えるのはなぜですか。			
	1. 有毒なアンモニアを無毒な物質にするため。	2. 食べた食べ物を消化しやすくするため。	3. 血液の中に酸素を取り入れるため。	4. 体に必要なエネルギーをつくるため。
問16	心臓から送り出された血液は、からだの各部分に酸素や養分をわたしたあと、かわりに何を受けとって心臓にもどりますか。			
	1. 胃から吸収した養分	2. からだを動かす空気	3. いらなくなった二酸化炭素	4. 新しく吸い込んだ酸素
問17	たんじゅうは、体のどの部分に出されて消化を助けますか。			
	1. 胃	2. 十二指腸	3. 大腸	4. 食道
問18	空気中の酸素の一部を体にとり入れ、体の中でできた二酸化炭素を外にはき出すはたらきのことを何といいますか。			
	1. 拍動	2. 吸収	3. 消化	4. 呼吸
問19	手首などで感じるることができる脈はくのテンポ（速さ）は、体の中のあるものの動きと同じですが、それは何ですか。			
	1. 胃の消化	2. 心臓のはく動	3. 肺の呼吸	4. 筋肉のちぢみ